

かさま 市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体などを紹介します。掲載を希望する団体は市民活動課へご連絡ください。



「自警団桜会議」の開催（結成5年目を迎えて）



会長(塩原 仁さん)より

「自分たちの街は自分たちで守る＝今こそ地域の力で」という趣旨のもと、自警団「桜」を結成し5年目になります。市民の立場から、「見せる活動」、「声をかける活動」、「知らせる活動」の3点を柱として活発に動いています。

会員には、「自分たちの街を安全にしていこう」という熱意と、「選択と集中」をもとに、「巡回の度にチェックする用紙を入れたパトロールBOX」の設置を中心に活動する行動力があります。加えて、警察・市等から寄せられた最新の情報により、[熱意]×[情報]×[行動力]の3点を原動力とした活動を展開しています。

自分たちの街は自分たちで守る ＝今こそ地域の力で

「見せる活動」については、オレンジ色ベスト・帽子着用によるパトロール、パトロールBOXの設置、のぼり旗の掲出を行っています。パトロールBOXは、平成24年11月の友部公民館への設置を皮切りに、順次、友部図書館、友部駅、穴戸駅、友部地区小中学校4校など24か所に設置し、これらをパトロール活動の拠点と位置付けて活動しています。

「声をかける活動」については、パトロール中にあいさつを交わす運動を展開しています。

「知らせる活動」については、情報誌「自警団桜(安全)サブリ」の作成・配信を行い、パトロールカード・車両防犯診断票の活用、出前講座を行っています。サブリは平成28年1月現在で64号を数え、車両防犯診断は警察の指導を受けながら実施しています。出前講座は、市で不審者情報が絶えないなか、子どもたち自身で身を守る力を高めてもらうために、体験型安全教室を開催しています。

自警団「桜」

会長 / 塩原 仁 (八雲)
設立 / 平成23年10月
会員数 / 62名



パトロールBOXの設置



「自警団桜(安全)サブリ」の作成・配信



車両防犯診断の実施



体験型安全教室の開催